

肉を擬人化しキャラクターに

WPSの「とりあえずカルビちゃん」プロジェクト

（株）WPS（大阪市西区、吉本敬史社長）が立ち上げた「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトが、さまざまなシーンで広がりを見せつつある。肉を今風に擬人化し、キャラクターにすることで、初見で「これは何だ？」と注目を浴び、やがて親近感を覚え、「推し」として確立される。肉をキャラクター化するという試みだが、WPSの挑戦は多岐に及び、「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトはさまざまな未来を作ろうとしている。



WPSの事業の柱となげた、IPビジネス（知っているのは三つ。一つの財産を活用して収益を得るビジネス）である。神戸「牛かつ亭」を運営する外食事業。二つ目は「厚切り牛かつ専門店」は「厚切り牛かつ専門店 得るビジネス」である。利用食資源の有効活用を目的とした食品リユース支援および販売事業。そして三つ目が「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトなどを立ち上

り、そこからマーケティングなどを行っていく。コロナ後、吉本社長が取り先の外食店などから話をきくと、販売環境はまだコロナ以前には戻っていないという話であった。コロナウイルスのま

つては、どういった立ち位置で業界に向かえば良いかと考えることも多くなっていた。これまでにはないようなアプローチを考えている中、「とりあえずカ

ン、詳細などについて

命として与え、「とりあ

また5月10日から6月9日にかけて、大阪市梅田駅周辺の繁華街である阪急東通商店街でタイアップ企画の「とりカル街のお肉まつり」を開催。商店街のコミュニティとして施設でパネル展示やグッズ販売を行い、イベント参加店舗でのポスター掲示やイチ推し肉メニューを決め、注文者にステッカーを配布するなどの活動を行った。

「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトは、そこからさまざまな形で広がりをみせつつある。メインとなる4人（カルビちゃん、ハラミちゃん、サガリちゃん、てっちゃん）以外にも、続々とキャラクターが誕生し、地方の企業、団体とのタイアップ、コラボなども念頭に置いて計画を練っているところである。

置で業界に向かえば良いかと考えることも多くなっていた。これまでにはないようなアプローチを考えている中、「とりあえずカ

ン、詳細などについて

また5月10日から6月9日にかけて、大阪市梅田駅周辺の繁華街である阪急東通商店街でタイアップ企画の「とりカル街のお肉まつり」を開催。商店街のコミュニティとして施設でパネル展示やグッズ販売を行い、イベント参加店舗でのポスター掲示やイチ推し肉メニューを決め、注文者にステッカーを配布するなどの活動を行った。

「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトは、そこからさまざまな形で広がりをみせつつある。メインとなる4人（カルビちゃん、ハラミちゃん、サガリちゃん、てっちゃん）以外にも、続々とキャラクターが誕生し、地方の企業、団体とのタイアップ、コラボなども念頭に置いて計画を練っているところである。

世界へと情報発信

日本の畜産物の魅力を

「関西焼き肉の女王」の異名を持ついかりんさんが協力し、各キャラクターの性格、個性、見た目などを固めてい

着地点は決めず、カルビちゃんというキャラク

り深みのある存在とな

また5月10日から6月9日にかけて、大阪市梅田駅周辺の繁華街である阪急東通商店街でタイアップ企画の「とりカル街のお肉まつり」を開催。商店街のコミュニティとして施設でパネル展示やグッズ販売を行い、イベント参加店舗でのポスター掲示やイチ推し肉メニューを決め、注文者にステッカーを配布するなどの活動を行った。

「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトは、そこからさまざまな形で広がりをみせつつある。メインとなる4人（カルビちゃん、ハラミちゃん、サガリちゃん、てっちゃん）以外にも、続々とキャラクターが誕生し、地方の企業、団体とのタイアップ、コラボなども念頭に置いて計画を練っているところである。



「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトの概要を説明

WPSでは、この「とりあえずカルビちゃん」プロジェクトを多方面に働きかけており、さいたま市の大宮マールイ、東京都渋谷区の渋谷セディ、大阪市難波のマールイなど